

浪江町の入札参加申請業種を記載

業 務 経 歴 書

営業年度を記入

記 載 例

(業務種別 地上測量)

6.4 ~ 7.3

発注者名	元請又は 下請の別	業 務 名	業務場所のある 都 道 府 県	請負代金の額 (千 円)	着工年月	完成年月
福島県	元請	〇〇線用地測量委託	福島県	54,129	6 年 7 月	6 年 9 月
東日本電信電話 (株)	元請	〇〇電波塔測量委託	"	18,769	6 年 8 月	6 年 8 月
〇〇コンサルタント (株)	下請	〇〇駅前広場再開発事業測量委託	"	19,260	6 年 9 月	6 年 11 月
		その他		4,821	年 月	年 月
		(福島県内 計)		97,006	年 月	年 月
宮城県		〇〇川流域測量	宮城県	44,833	6 年 8 月	6 年 11 月
		その他		7,258	年 月	年 月
		地上測量の計		149,097	年 月	年 月
					年 月	年 月
					年 月	年 月

工事に限る業務のみ記入すること。
(遺跡発掘調査、食品栄養分析調査、システム保守管理・販売、
イベント・講演会開催等は含まない。)

対応表に転記

審査基準日の直前2年の各営業年度について作成すること。

記載上の注意

- 1 希望する業務種別ごとに区分し、別葉に作成すること。
- 2 下請業務については、発注者名の欄に元請業者名を、業務名の欄に下請業務名を記載すること。
- 3 県内業者にあつては、審査基準日の直前2年の各営業年度における完成業務について記載し（少額業務については一括記載してもよい。）各営業年度ごとに取扱高の合計を記載すること。
- 4 県外業者にあつては、審査基準日の直前2年の各営業年度における主な完成業務について記載し（1年間につき20件程度記載すること。）、各営業年度ごとに業務現場等が福島県内の取扱高の小計を記載すること。なお、努めて福島県内で取り扱った業務を記載すること。

○業務経歴書（第6号様式その2）

記入上の注意

1. 工事に関する業務のみ記入すること。（遺跡発掘調査、食品栄養分析調査、システム保守管理・販売、イベント・講演会開催等は含まない。）
2. 業務経歴書は消費税抜きとすること。
3. 希望する業種ごとに別ページで作成すること。
4. 審査基準日の直前2年の各営業年度に含まれる完成業務高を記入すること。
5. 先に福島県内の業務を記載し、小計を記載すること。次に福島県外の業務を記載すること。
この場合、1年20件くらい又は完成業務高の7割程度のいずれか少ない方までを、1件ごとに記載し、残りは、その他としてまとめて記載してよい。
6. 営業年度ごとに当該業務の完成業務高の合計を記載すること。
7. 下請業務の発注者名は、元請業者名とし、業務名は下請業務名とすること。
8. 福島県指定様式以外での作成も認めるが、その場合、指定の記載事項及び方法を満たしていること。なお、建設コンサルタントとしてまとめてある業務経歴書は、各業務が調査、土木設計のいずれに属するかを明記すること。

- ・ 本用紙は、表面用と裏面用を両面印刷でA4判1枚として提出すること。
- ・ 長辺綴じ（表面と裏面で、上下が逆になる）となるように作成すること。

➡ 本様式の業務種別毎の各年度の計が、対応表の申込種別の横欄の計と一致しているか確認すること。

商号又は名称： **福島設計株式会社**

営 業 所			内 部 委 任 者		委任する 業務種別	委 任 事 項				委任区域 (管内別)
名 称	代表者	所 在 地 等	職	氏 名		見積 入札	契約	代金 請求 受領	復代理 人選任	
(本 店) 本社	福島 太郎									
(営業所) 南会津 営業所		〒967-0004 南会津郡南会津町田島字根 小屋4277-1 0241-62-5304	所長	田島 次郎	地上測量 土木設計	○	○	○	○	
計			2 箇所							

○営業所及び委任関係一覧表（第4号様式その2）

記入上の注意

1. 委任先を設けない場合は、提出は不要である。
2. 「営業所」の欄には、委任を受けた営業所のみを記載すること。
3. 委任先は、1か所のみとする。
4. 業種ごとに委任することができる。
5. 測量、不動産鑑定及び建築設計について委任先とできるのは、登録等のある営業所等に限る。
(委任先の登録等がされていることがわかる書類を添付すること)

標準例

委任状兼使用印鑑届

記載例

浪江町長 様

申請日を記入

令和 8 年 2 月 1 日

代理人を置く営業所の所在地

福島県南会津郡南会津町根小屋甲4277-1

受任者

商号又は名称 福島設計株式会社

事業所名 南会津営業所

代理人役職名 所長

代理人の氏名 田島 次郎

使用印

私は、上記の者を代理人と定め、貴職との間における下記に掲げる行為についての権限委任するとともに、その行為に際して使用する印鑑についてお届けします。

主たる営業所の所在地

福島県福島市杉妻町2番16号

委任者

商号又は名称 福島設計株式会社

代表者役職名 代表取締役

代表者氏名 福島 太郎

同じものとする

実印

記

委任事項

1. 工事請負の入札及び見積もりの件
2. 工事請負契約の締結の件
3. 工事代金の請求及び受領の件
4. 復代理人選任の件
5. その他工事施行に関する一切の件

契約時使用印鑑

使用印

委任する業務種別

地上測量、土木設計

委任期間

令和8年6月1日 ～ 令和9年5月31日

【記入上の注意】

1. 委任状の様式は標準例にある項目を具備していれば、任意の様式で構いません。
2. 委任する場合、見積入札・契約締結・代金請求受領の権限はすべて委任してください。
3. 受任者の印と契約時使用印鑑は同じものとしてください。
4. 建設工事、測量等の申請業種に関わる許可や登録が必要な場合は、委任先とできるのは、それらの許可や登録がある営業所等に限りです。
5. 日付、宛先等も漏れなく記載してください。

○対応表【取扱業務高】
(測量等に係わる登録と入札参加申込業種)

記載例

会社名： 福島設計株式会社

登録等 申込業種	2年前 (審査基準日の2営業年度前の取扱高)										直前 (審査基準日の直前営業年度前の取扱高)									
	測量法 第55の8	地調	質 査	補償 コンサル	不動産 鑑定	建設 コンサル	建設	建築 計	その他	計	測量法 第55の8	地調	質 査	補償 コンサル	不動産 鑑定	建設 コンサル	建設	建築 計	その他	計
地上測量	137,018									137,018	149,097									149,097
航空測量	0									0	0									0
調査		54,169	23,684		0	2,456,849				2,534,702		48,196	46,897		0	1,236,958				1,332,051
土木設計						12,896,478				12,896,478						9,763,524				9,763,524
建築設計							0			0							0			0
その他	0	0	0	0	0	569,547	0	0	0	569,547	0	0	0	0	0	496,890	0	0	0	496,890
計	137,018	54,169	23,684		0	15,922,874	0		0	16,137,745	149,097	48,196	46,897		0	11,497,372		0	0	11,741,562

【記入上の注意】

- 1 この表は、浪江町の5種別(縦覧)と建設コンサルタント登録等(横欄)の対応を整理するものです。
- 2 各営業年度の合計は、財務諸表の売上高と一致します。
- 3 入力できない箇所については、セルに色掛けがしてありますので、空白セルにのみ金額を記入してください。
- 4 縦の計が各登録等の取扱高の合計と一致します。
- 5 各営業年度の横の計の平均をデータ入力票 測量等 完成工事高2年平均 欄に転記します。
- 6 申込種別における「その他」とは、申込業種に申請しない取扱業務高です。

財務諸表の売上高と一致しているか確認

町の入札参加申請業種を記

技術者経歴書

記載例

(業務種別 地上測量)

R7.3.31 現在

	職名	氏名	年齢	最終学校		法令による免許等		実務経歴	経験年数	常勤・非常勤	
				学校名	専攻学科	名称	取得年月日			常勤	非常勤
1	測量課長	福島 一郎	57	○大学	工学部土木工学科	測量士 1級土木施工管理技士	S60.10.1 S62.9.1	30-国道○号測量 31-××川改修測量	38年 6月	○	
2	測量課技士	福島 二郎	51	○大学	〃	測量士	H4.4.1	30-市道○線測量 1-××地区雨場整備測量	32年 月	○	
3									年 月		
4									月		
5									年 月		
6									年 月		
7									年 月		
8									年 月		
									計	2	0

希望業種に関するもののみ記載

審査基準日の直前営業年度末現在について作成

・ 審査対象年度及びその前年に当該技術者が従事した業務のうち最大のものを1年に1件記載
・ 当該業務名を記載（事業主、代表者等は、職務内容でよい）

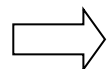
○技術者経歴書（第3号様式その2）

記入上の注意

1. 申請する種別毎に作成し、審査基準日の直前営業年度末現在における技術者について記載すること。
2. 既存の技術者経歴書を活用することは差し支えないが、この場合は指定する記載事項及び方法を満たすように修正すること。
3. 技術者経歴書には、すべての技術関係職員を記載すること。なお、主たる業務が複数ある場合には、土木設計を申請し、かつ当該職員が土木設計の技術者であれば、土木設計にのみ優先して記載し、それ以外であれば、いずれか1つの業務の技術者として記載すること。
4. 年齢、経験年数は、審査基準日の直前営業年度末現在で記載する。
5. 「法令による免許等」欄は、希望する業務に関するもののみ記載すること。なお、コンサルタント業務をおこなうもので技術士法に基づく技術士を記載する場合は、免許等の名称欄に登録部門を（ ）書きすること。

例）技術士（道路）
6. 「実務経歴」欄は、審査対象年度及びその前年に当該技術者が従事した業務のうち最大のものを1年に1件記載するものとし、当該業務名を記載すること（事業主、代表者等は、職務内容でよい）。

- ・本用紙は、表面用と裏面用を両面印刷でA4判1枚として提出すること。
- ・長辺綴じ（表面と裏面で、上下が逆になる）となるように作成すること。



技術者経歴書の常勤の人数をデータ入力票 測量等の技術職員数に実人数で転記すること。

技術者集計一覽表

記載例

住所 福島県福島市杉妻町2番16号
申請者 商号又は名称 福島設計株式会社
代表者職・氏名 代表取締役 福島 太郎

1 技術士・・・[小計] 25 人]

建設部門	19人	1) 土質及び基礎	7人	2) 鋼構造及びコンクリート	人	3) 都市計画及び地方計画	人
		4) 河川、砂防及び海岸・海洋	6人	5) 港湾及び空港	人	6) 電力土木	人
		7) 道路	5人	8) 鉄道	人	9) トンネル	1人
		10) 施工計画、施工設備及び積算	人	11) 建設環境	人		

上下水道部門	0 人	1) 上水道及び工業用水道	人	2) 下水道	人
--------	-----	---------------	---	--------	---

農 業 部 門	1 人	1) 農業土木	1 人
---------	-----	---------	-----

森 林 部 門	0 人	1) 森林土木	人
---------	-----	---------	---

水 産 部 門	0 人	1) 水産土木	人
---------	-----	---------	---

機 械 部 門	0 人	1) 機械設計	人	2) 材料力学	人	3) 機械力学・制御	人
		4) 動力エネルギー	人	5) 熱工学	人	6) 流体力学	人
		7) 交通・物流機械及び建設機械	人	8) ロボット	人	9) 情報・精密機器	人

電気電子部門	0 人	1) 発想配変電	人	2) 電気応用	人	3) 電子応用	人	4) 情報通信	人	5) 電気設備	人
--------	-----	----------	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---

応用理学部門	0 人	1) 地質	人
--------	-----	-------	---

衛生工学部門	0 人	1) 廃棄物管理	人
--------	-----	----------	---

総合技術管理部門	5 人	1) 建設－土質及び基礎	2 人	2) 建設－鋼構造及びコンクリート	人	3) 建設－都市計画及び地方計画	人
		4) 建設－河川、砂防及び海岸・海洋	2 人	5) 建設－港湾及び空港	人	6) 建設－電力土木	人
		7) 建設－道路	1 人	8) 建設－鉄道	人	9) 建設－トンネル	人
		10) 建設－施工計画、施工設備及び積算	人	11) 建設－建設環境	人	12) 上下水道－上水道及び工業用水道	人
		13) 上下水道－下水道	人	14) 農業－農業土木	人	15) 森林－森林土木	人
		16) 水産－水産土木	人	17) 機械－機械設計	人	18) 機械－材料力学	人
		19) 機械－機械力学・制御	人	20) 機械－動力エネルギー	人	21) 機械－熱工学	人
		22) 機械－流体力学	人	23) 機械－交通・物流機械及び建設機械	人	24) 機械－ロボット	人
		25) 機械－情報・精密機器	人	26) 電気電子－発送配変電	人	27) 機械－ロボット	人
		28) 電気電子－電子応用	人	29) 電気電子－情報通信	人	30) 電気電子－電気設備	人
		31) 応用理学－地質	人	32) 衛生工学－廃棄物管理	人		

技術者集計一覧表

2 R C C Mの資格保有者・・[小計] 5 人]

1) 河川、砂防及び海岸・海洋	人	2) 港湾及び空港	人	3) 電力土木	人
4) 道路	3 人	5) 鉄道	人	6) 上水道及び工業用水道	人
7) 下水道	人	8) 農業土木	1 人	9) 森林土木	人
10) 水産土木	人	11) 廃棄物	人	12) 造園	人
13) 都市計画及び地方計画	人	14) 地質	人	15) 土質及び基礎	1 人
16) 鋼構造及びコンクリート	人	17) トンネル	人	18) 施行計画、施工設備及び積算	人
19) 建設環境	人	20) 機械	人	21) 電気電子	人

3 学校教育法による大学卒業者で土木設計に関する経験年数が15年以上の技術者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・[小計] 4 人]

4 学校教育法による短期大学又は高等専門学校卒業者で土木設計に関する経験年数が17年以上の技術者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・[小計] 2 人]

5 土木設計に関する経験年数が20年以上の技術者・・[小計] 11 人]

6 「R C C M資格試験」に合格し、社団法人建設コンサルタンツ協会に備える「R C C M登録簿」に登録しておらず、
「登録証書」の交付を受けていない者・・[小計] 1 人]

7 1で定める技術士以外で、土木設計に関する経験年数が10年以上の技術士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・[小計] 1 人]

【集 計】 (1) 1～7の技術者 49 人 (2) 1～7に該当しない技術者 12 人 (3) 全技術者 (1)+(2) 61 人

技術者経歴書（土木設計）と人数が
一致する

○技術者集計一覧表（第6号様式の3）

記入上の注意

1. 「土木設計」を申請するときのみ提出すること。
2. 1～7の項目に複数該当する者がいる場合は、重複せずに若い番号を優先して記入すること。
(照査技術者及び管理技術者になれる者が何人いるか集計する一覧表であるため。)
3. 土木設計における「技術者経歴書」に記載した人数と【集 計】（3）の人数は一致すること。

誓 約 書

記 載 例

令和 8 年 2 月 1 日

浪 江 町 長

住所又は所在地 福島県福島市杉妻町2番16号

商号又は名称 福島設計株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 福島 太郎

印

私は下記1に該当しないことを表明するとともに、将来にわたって下記2に該当する行為をしないことを誓約します。

この表明・誓約書が虚偽であり、又はこの表明・誓約書に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てず、なんらの賠償ないし補償を求めません。但し、貴職に損害が生じたときは、その損害を賠償します。

また、貴職において必要と判断した場合は、別紙役員等名簿により提出する当方の個人情報情報を警察に提供し、表明・誓約事項を確認することについて同意します。

記

1. 契約の相手方として不適当なもの

- (1) 役員等（受注者が個人である場合にはその者を、受注者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは契約締結権を委任する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。
- (2) 暴力団（暴力団対策法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。
- (3) 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。
- (5) 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

2. 契約の相手方として不適当な行為をするもの

- (1) 暴力的な要求行為
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
- (4) 偽計又は威力を用いて契約担当職員等の業務を妨害する行為
- (5) その他前各号に準ずる行為

※ 添付書類：役員等名簿

※ このページは変更しないでください。

発注種別

地上測量

航空測量

調査（地質調査）

調査（補償コンサルタント）

調査（不動産鑑定）

調査（建設コンサルタント）

土木設計

建築設計